

都市再生整備計画 事後評価シート  
紫波中央駅前地区

平成26年12月  
岩手県紫波町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岩手県	市町村名	紫波町	地区名	紫波中央駅前			面積	21.2 ha
交付期間	平成21年度～平成25年度	事後評価実施時期	平成26年度	交付対象事業費	1,945.1(百万円)	国費率	0.4		

1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名						
	基幹事業	提案事業	[道路] 紫波中央駅大通1号線、紫波中央駅大通2号線、紫波中央駅南北線、上野沢丸盛線、平沢大地町線、紫波中央駅前二丁目5号線、紫波中央駅前二丁目6号線、紫波中央駅前二丁目7号線、紫波中央駅前二丁目8号線、紫波中央駅前二丁目9号線 [公園] 紫波中央駅前大通公園 [下水道] [地域生活基盤施設] 緑地、駐車場1/4 [高質空間形成施設] 緑化施設Ⅰ、緑化施設Ⅱ、歩行者専用道路 [高次都市施設] 地域交流センター						
	基幹事業	提案事業	[地域創造支援事業] 下水道整備事業(基幹事業対象外)、図書館 [事業活用調査] 今後のまちづくりのための事業効果分析調査 [まちづくり活動推進事業] まちづくり担い手作りワークショップ、プールバールのある街情報提供						
	事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
	当初計画から削除した事業	基幹事業	[道路] 上野沢丸盛線、平沢大地町線、紫波中央駅前二丁目8号線、紫波中央駅前二丁目9号線 [地域生活基盤施設] 駐車場1/4 [高質空間形成施設] 緑化施設Ⅰ、緑化施設Ⅱ	道路については計画変更による削除及び事業を取りやめたため。駐車場については民間事業者整備となったため。緑化施設については広場施設に変更したため。			影響なし		
	新たに追加した事業	基幹事業	[公園] (仮)紫波町みどりの交流公園 [地域生活基盤施設] (地域防災施設) 耐震性貯水槽、(地域防災施設) 雨水貯留浸透施設、(仮)東広場、(仮)西広場 [高質空間形成施設] 電線類地下埋設施設	公園については岩手県フットボールセンター整備にあわせ周辺に公園を整備するため。地域防災施設については地域の災害対策及び下流への被害防止策として設置するため。広場については緑化施設を広場施設に変更したため。電線類地下埋設施設については電線共同溝方式から一部自治体管路方式に変更したため。			影響なし		
	交付期間の変更	当初	平成21年度～平成25年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-			
		変更	-	-		-			

2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	地域交流センターと図書館の利用者数	人/年	6,826	H20	39,500	H25	311,860	○	あり	利用されやすい場所、利用者の利便性と快適性に配慮した施設づくりと運営、情報発信により、多くの人に利用された。	
	指標2	イベント数	回/年	3	H20	12	H25	66	○	あり	駅に近く人が集まりやすい場所、利用しやすい魅力的な施設設備、情報発信により、多くのイベントが開催された。	
	指標3	住宅地の販売画地数	画地	11	H20	20	H25	3	△	あり	大手ハウスメーカー等への一括販売から直接販売する方法等へと変更したことが、目標未達成の要因と考えられる。	

3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	駅周辺地区の人口	人	2,743	H19			3,152			地区の良好な居住環境の形成が、周辺人口の増加という波及効果をもたらしたものと考えられる。	
	その他の数値指標2											

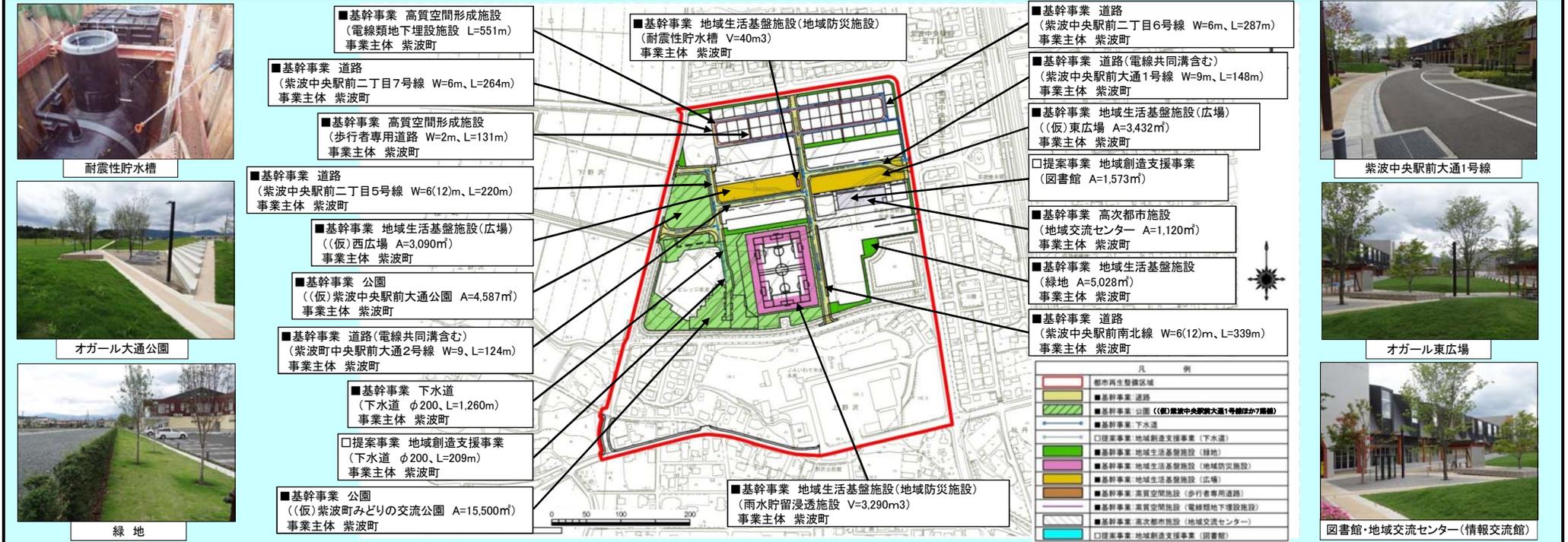
4) 定性的な効果発現状況  
 平成24年度に近隣に設けられた地価調査の基準地の地価が25年度、26年度と2年続けて上昇した。25年度の地価上昇は平成26年度版土地白書に掲載された。／紫波中央駅はJR駅としては乗降客数が県内9番目に多く地区内施設のオープンや定住により今後さらなる利用増加が見込まれることから、平成27年度から有人化される予定である。／地区は(一財)都市みらい推進機構が主催し国土交通省が後援する平成25年度土地活用モデル大賞を受賞し、(独)建築研究所の評価を受け国土交通省が実施する平成25年度住宅・建築物省CO2先導事業に採択され、「PPP/PFIの成功事例」「エコ住宅」のテーマで雑誌に掲載されるなど、先導的なまちづくりとして認められている。／事業用定期借地権の設定により町財源の安定的確保が可能となった。／オガールプラザにより雇用の創出が図られた。／地区内住宅地に県内初となる景観協定が締結され優良住宅地が形成され維持されることが担保された。

5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等	
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた			
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			
	住民参加プロセス	ワークショップを中心に、オガール大通公園やオガール東・西広場をデザイン施設を活かす仕組みづくりを行い、地域交流センター(情報交流館)と図書館の入る建物も含めた利活用を検討した。	都市再生整備計画に記載し、実施できた		●	自分たちの地域や活動に役立つ地区の施設や機能の使い方を考えることを目的として、平成26年度にワークショップや実験イベントを行う予定である。
	持続的なまちづくり体制の構築	オガール大通公園とオガール東・西広場をデザイン施設を活かす仕組みづくりを行い、当事者意識や人のネットワークを形成した。地域情報誌の発行団体が組織され、既存組織や人がつながり交流が増えた。	都市再生整備計画に記載し、実施できた		●	第三セクターによるまちづくり活動を継続して行うとともに、市民活動支援センターにより各種団体組織の市民活動支援を継続する。
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			

## 様式2-2 地区の概要

### 紫波中央駅前地区(岩手県紫波町) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値		目標値		評価値	
		従前値	目標値	従前値	目標値	従前値	目標値
JR紫波中央駅前に魅力ある行政・公益施設ゾーンを創出し、町民の利便性向上と交流を促進する。 ・公共施設等を整備し、生活利便性の向上を図る。 ・町の情報発信の拠点を整備し、交流人口の拡大を図る。 ・良好な居住環境の整備を図る。	地域交流センターと図書館の利用者数	単位:人/年	6,826 H20	39,500	H25	311,860	H25
	イベント数	単位:回/年	3 H20	12	H25	66	H25
	住宅地の販売画地数	単位:画地	11 H20	20	H25	3	H25.10~H26.9



**まちの課題の変化**

課題は解消されつつある。今後は地区内住宅地の販売促進が課題である。  
 ・子育て応援センターが整備され、行政・公益施設ゾーンとしての地区の活用が進んでいる。現在役場新庁舎を建設中であり、平成27年度には役場機能が本地区へ移転される。  
 ・地域交流センター(情報交流館)が開館し、市民活動支援センターも移転するなど、地域との交流や市民協働の拠点として機能し始めている。  
 ・産直施設は盛況である。町の自然や保養・レクリエーション施設、文化施設等の情報発信機能については、諸施設のホームページと本地区を中心に紫波町全域の紹介を行うホームページが開設され、こまめな情報発信がなされている。また(一社)紫波町観光交流協会が紫波中央駅隣に移転し、観光案内等の活動を行っている。

**今後のまちづくりの方策(改善策を含む)**

・役場新庁舎を予定通り完成させる。  
 ・まちの完成後も第三セクターによる官民連携で施設やホームページ等の運営を続け、地域との交流や市民協働の拠点として利用されるよう向上を目指す。  
 ・紫波型エコハウスの建築費用の低減と更なる普及促進を図るため、建築費低減の研究やモデルハウスにおける相談・紹介、普及啓発活動を行う。